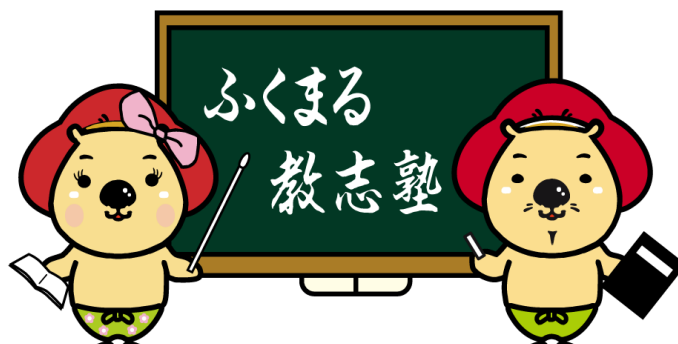


第4回 ふくまる夢たまごセミナー



日 時 9月13日（金）18：00～20：00

場 所 池田府市合同庁舎7階大会議室

内 容 おもしろ授業実践 PARTI
～国語科の授業づくりを通して～

講師 河合 啓志 氏（池田市立石橋小学校 教頭）

『言葉とは…』

まだまだ暑さが残る中、13名の塾生の参加でセミナーが始まりました。



最初に、セミナー開始直前に梶原指導主事より指名された2名の塾生が司会を務め、3名の塾生の1分間スピーチを行いました。3名の塾生も司会より突然指名されたにもかかわらず、現場実習で経験した思いを簡潔な言葉で伝えていました。

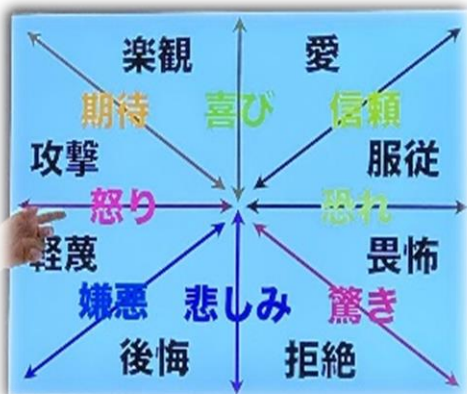
続いて、石橋小学校の河合教頭先生から、先生がこれまで積み重ねてこられた授業づくりや学級づくりを根底に「言葉」について様々な視点からお話いただきました。

イメージとして持っている思いが「言葉」として捉えられたとき、人は考えを広げることができる。「言葉」をたくさん持っていることが、言葉による概念をたくさん持っていることであり、それが、かしこさであろう。

「言葉とは何か？」という根源的で正解のない問いに対する河合先生の姿勢を示していただいたように思います。



「不登校問題」や「働き方改革」についても、「言葉」を駆使し、違う方向から考えるとどう見えるかが示されました。



加えて、河合先生からの言葉を視覚的に簡単に生かすツールの紹介や、自分の感情を言葉で認知していく感情シートの紹介なども、塾生は、これから授業づくりに必要なヒントを多くいただいたようです。

<塾生の感想から>

○幼児教育において、子ども達はたくさん言葉を吸収する時期でもあることから、教師が正しい言葉を使う事や、子どもと会話する際に「〇〇さんは、～な気持ちだったんだね」といったような言語化することを大切にしたいと改めて感じました。

○視点の広さ、考え方の豊かさ、それが言葉一つひとつの重みとなって響くことが多かったです。かかわりやすく、接しやすいと子どもたちが思う先生（人）になりたいと感じました。

○言葉のもつ効果を実感したセミナーでした。言葉がけ一つで、良い方向にもっていくことができるが、反対に自分の何気ない言葉で簡単に傷つけることもできてしまう、また、使い方次第で信頼を得られたり、この人の話を聞こうと思えたりするため、自分の言葉の力をこれからも伸ばしていきたいと思います。

○子どもに話す時も今まで話し方は注意していましたが、言葉のセンスを磨くというのは全くしてこなかったことなので、これから色々な人の言葉に触れて誰かに伝えたり自分が生きていく上での支えにしたりしたいです。

